

一般社団法人日本CFO協会2020年度事業報告書

自2020年4月1日 至2021年3月31日

1. 事業報告

2020年2月より日本でも影響を与えた新型コロナウイルス感染症の影響は、当期を通じて世界中の人々への消費行動や価値観を変容させており、企業活動にも大きな影響を与えました。テレワークを余儀なくされた環境下で決算や業績予測を行った経理部門や、止めることができない資金業務をはじめ金融・資本市場の状況の注視が求められた財務部門では、更なるデジタル化による業務高度化の必要性が顕在化しました。また、CFOはポストコロナを見据えた新しい経営モデルへの変革をリードしていくことが強く求められた1年となりました。

当期は、弊会の創立20周年を迎える年に当たり記念イベントを企画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止しました。また、コロナ禍の影響により全ての活動をオンラインでの開催とさせて頂きましたが、会員の皆様のご理解のもとで多くのイベントにご参加を頂くことができました。

緊急事態宣言下における経理財務業務に関する緊急アンケート調査の実施や、課題となったテレワークやデジタル化の推進など、会員の皆様の関心の高いテーマを取り上げて当期も様々なサービスを会員の皆様にご提供させて頂きました。具体的な活動内容は以下の通りです。

(1) 教育・啓蒙活動

- ・ 会員に対する情報提供の場として開催しているCFOセミナーを、以下の通り計11回開催しました。

(開催日)	(セミナータイトル)
6月18日	アフターCOVID19を考える：戦略的な投資の原資を作るには
7月2日	コロナ危機下のCFOの役割
7月16日	オートメーション・エニウェアのDXジャーニー全貌
9月17日	V字回復は起こらない。 長期化するコロナ禍における固定費のコストコントロール
10月15日	事業部門別企業分析の紹介
11月19日	コロナ禍や貿易紛争で加速する連結実効税率管理とグローバル税務ガバナンス
12月3日	真に数字に強いビジネスパーソンとは？
1月21日	今こそ必要な『リモート決算』 その具現化ステップのご紹介
2月4日	デジタル時代のCFO組織を支えるFP&A機能
2月18日	組織の力を引き出し、予測精度が向上する「予測管理」
3月4日	今、話題のプロセスマイニングとは？ プロセスマイニングの基礎と経理財務領域における取り組み事例

- ・ 啓蒙活動の観点より会員の方以外にも対象を拡大し広くご案内を行ったイベントとして、当期も以下のイベントを開催しました。

第1回CFO オンライン・カンファレンス（5月29日）

非常事態の課題解決と今後のCFO組織の高度化を考える

第2回CFO オンライン・カンファレンス（7月3日、9日）

ポストコロナに向けた本社機能の変革に向けて

FP&Aフォーラム・オンライン2020（7月21日、30日、8月5日）

秋のスペシャルイベントCFO X!!（9月8日、9日、10日、11日）

CFOフォーラム・ジャパン（12月7日、8日、9日、10日）

第3回デジタルファイナンス・フォーラム2021（2月24日、3月22日）

研究会「リモート経理に向けた請求書の電子化に関する研究会」（3月16日）

研究会「経費管理と不正リスクに関する研究会」（3月23日）

※9月8日に開催を予定していた20周年記念イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とし、予定されていたプログラムの一部はCFO X!!としてオンラインにて開催となりました。

- ・ 法人会員を対象としたCFO相当の役員に限定した朝食会「CFOラウンドテーブル」は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中断し、1月よりオンライン形式で再開し2回開催しました。また、次世代のCFOを担う方々を対象とした勉強会「次世代CFO会議（Next CFO Society）」もオンラインにて5回開催しました。

CFOラウンドテーブル

1月27日 デジタルトランスフォーメーションと組織の課題

2月9日 企業進化におけるCFOの役割

次世代CFO会議（Next CFO Society）

第1回（11月25日） 全社のDX戦略

第2回（12月23日） コーポレート機能のDX戦略

第3回（1月20日） 経理・財務部門のDX推進とリモート体制

第4回（2月27日） DX時代が創る経営管理の在り方～ Digital ESG ～

第5回（3月17日） DX時代の人材と組織

尚、次世代CFO会議の一般公開イベントとして、第5回の開催と併せて「次世代CFO会議オープンフォーラム」を開催しました。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で、下記の活動は中止致しました。
 - 中部地区「経理役員・部長懇話会」
 - 「関西地区友の会」
 - ベンチャーCFO育成講座（多摩大学への寄付講座）また、2018年度より協力を行っている「会計・財務EXPO」（主催：リードエグジジションジャパン株式会社）への協力および展示は中止致しました。
- ・ オンライン情報誌「CFOFORUM」を毎月発行しました。

（2）資格・検定活動

- ・ 一般社団法人金融財政事情研究会と共同で実施しているプロフェッショナルCFO資格試験の

受験者数は580人と前期比166人の増加となり、受験者は累計2,463人になりました。

- ・ 経済産業省経理・財務人材育成事業経理・財務スキル検定（FASS検定）の受験者数は4,511人と前期比1,123人の減少となり、受験者は累計68,616人になりました。
- ・ 専門性の高い実務領域のスキルを可視化するための連結決算実務検定の受験者は125人と前期比81名の増加となり、受験者数は累計で361人になりました。
- ・ 米国の財務教育団体AFP（Association for Financial Professionals）との提携のもと、分析、予測、計画の策定、業績報告といった経営・事業の意思決定プロセスを出題範囲とした新しい検定試験として「経営企画スキル検定（FP&A）」を2月から実施しました。第1期（2月・3月）受験者は226人となりました。
- ・ 当期末時点における資格認定者数は、ジェネラルCFOが377人、グローバルCFOが256人、プロフェッショナルCFOが323人、スタンダードCFOが312人となり、CFO資格認定者は合計で1,268人となりました。

（3）調査・研究活動

- ・ 経営・財務分野のさまざまなベンチマーク情報を提供する目的で「財務マネジメント・サーベイ」を以下のテーマにて6回実施しました。

第84回	日本企業における非財務情報活用とその実態調査
第83回	経費管理と不正リスクに関する実態調査
第82回	リモート経理に向けた請求書の電子化に関する実態調査
第81回	FP&A（経営・事業の企画管理）機能の強化に向けた実務面の課題を考える
第80回	業績への貢献に向けたFP&A機能（経営企画/管理会計）における現状と課題
第79回	ポストコロナの経理部門の変革に向けた現状と課題

- ・ 「新型コロナウイルスによる経理財務業務への影響」についての緊急調査を第1弾（2020年3月18日から4月3日）、第2弾（4月7日から4月13日）と2回実施し、緊急事態宣言下におけるテレワークの実施状況や課題についての調査結果を4月6日および4月15日の2回発表を行いました。

（4）会員数

- ・ 個人会員の新規入会者数210人、法人会員の新規入会社数14社で、当期末の会員数は個人会員が1,956人、法人会員は213社となりました。

（5）損益の状況

- ・ 売上高は108,618千円と前期比12,232千円減少しました。
会員事業につきましては、入会金収入は4,030千円と前期比1,155千円の増加、会費収入は64,949千円と前期比2,596千円減少しました。検定事業につきましては、受験料収入は33,419千円と前期比10,489千円減少しました。

- ・ 費用につきましては、91,231千円と前期比14,800千円減少しました。
- ・ 営業利益は17,387千円と前期比3,318千円増加しました。当期純利益は17,367千円と前期比で2,919千円の増益となりました。

2. 2021年度の活動

(1) 活動計画

新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない厳しい状況ではありますが、オンライン・ツールを積極的に活用することで、付加価値が高いクリエイティブな仕事へと会員の皆様が取り組んでいけますよう活動を充実させていく予定です。

コロナ禍での課題として浮かび上がったテレワークやデジタル化推進についての具体的支援を継続させて頂くと共に、不透明な将来予測を支援するための経営管理基盤の強化やFP&A機能の実装に向けたテーマをはじめ、資格認定、教育、調査研究、コミュニケーションそれぞれの事業分野において活動を行っていく予定です。

(2) 事業予算

2021年度は、入会金収入4,400千円、会費収入65,000千円、受験料収入43,750千円と、売上高は124,950千円を予定しています。費用につきましては96,524千円、税引前利益は28,426千円を予定しています。

以 上